

突然ですが、

商店街に住んでみたい  
と思うことはありませんか？



“商店街のイメージ”ってどんな感じですか？

商店街にできれば買う物が  
だいたいそろろう！

アーケードがある

まちのお祭りごと・お祝いがされてる

地元の人が顔なじみ

お店がいっぱい



お店の人が気軽に  
話しかけてくれる

とくに土日はとても  
にぎわっている

⇒にぎやかで楽しい空間・人が集まっているイメージがある

⇒一方で、意外と住むイメージがない！

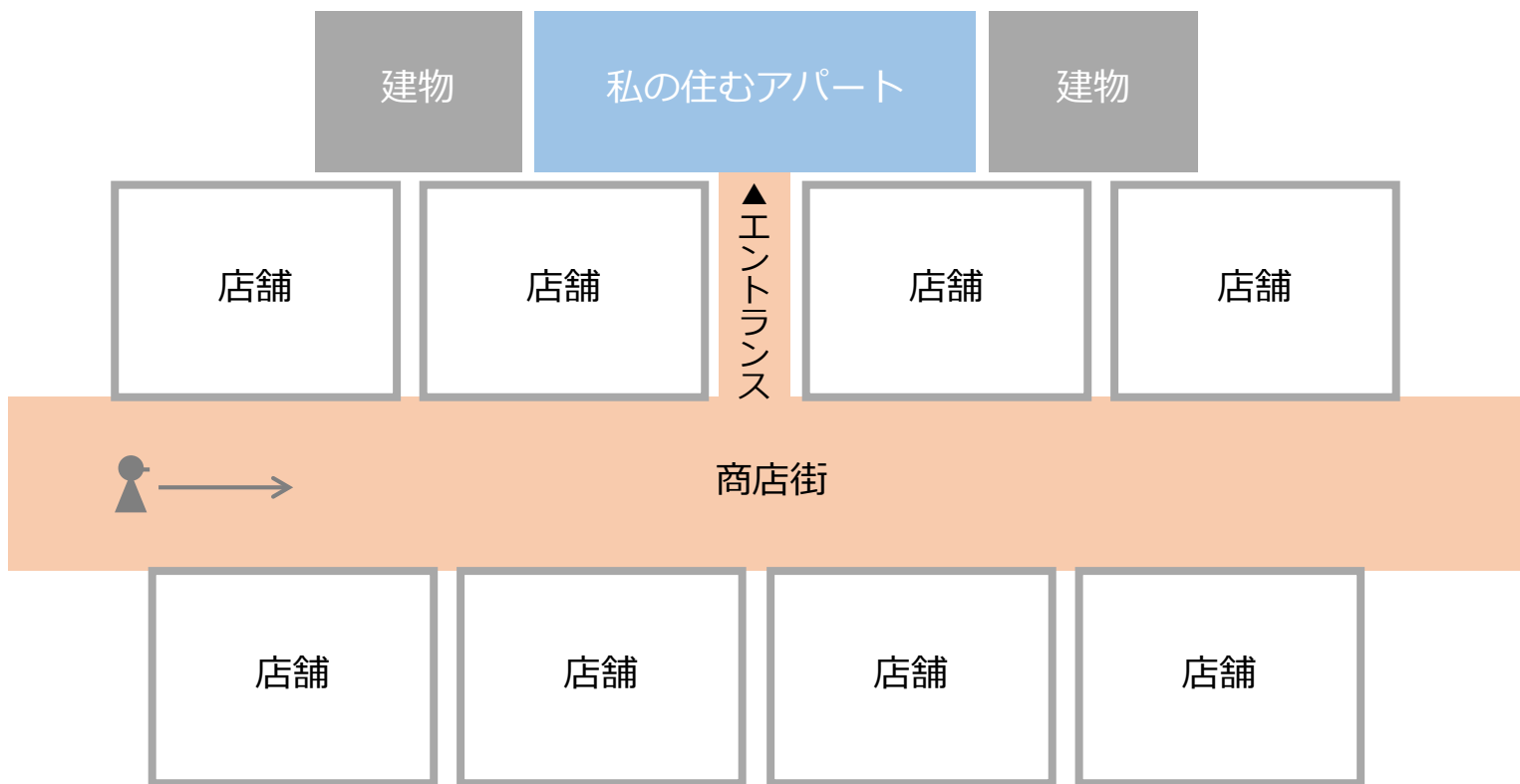
学生の頃、  
「商店街に住む」をテーマに  
設計していたことがあります。

商店街の上部空間の空きスペースに  
住空間と共有スペースをつくる  
といったものでした。



実は私は、就職をきっかけに九州・福岡に来ましたが、  
今実際に商店街に面したアパートに住んでいます。

会社が決めてくれたアパートですが、  
アパートのエントランスが商店街に向いていて、商店街を通らないと帰宅できません。



## ○約半年暮らしてみても思ったこと

- ・安全、安心

夜間に帰宅しても照明がついていて明るい！  
家の前に常に人がいるから、人気がない道より安心

- ・買い物等で便利！

近所にスーパー、お惣菜屋さん、薬局などがそろう！  
八百屋さん、魚屋さんといった専門店で買い物が出来る（安い）

- ・近くに住んでいる方々の利用が多く、利用される頻度も高いので  
店の人と顔見知りの場合が多いみたい  
いつもおなじみのメンバーが集っている飲食店・お惣菜屋さんとかがある

- ・都会とはちがうよさがある

⇒個人的な差はあると思いますが、  
私はすむ場所としてとてもおすすめだと思います！



全国にはさまざまな形態の商店街があります。  
うち、福岡市には175もの商店街があるそうです。



アーケードがなかったり



ほぼ屋内みたいでだだっぴろかったり



商品のせりだしが多くて人が通るのが精一杯だったり

なかには夜ににぎわうお店で商店街が構成されていたりと  
すむ場所に適していない商店街もあるかとは思います。

一方、全国的に商店街は衰退が進み、シャッター街化している地域も多く見受けられる現状です。



学生のとくに設計対象としていた、大阪・鶴橋の商店街もそうでした。鶴橋の商店街は、駅からも比較的近く、徒歩5分圏内なのに人がいない、といった状況でした。

### ○シャッター街化した商店街の特徴

- ・ 空き店舗が多い
- ・ とくに2階以降の有効活用できていない空間が目立つ
- ・ 商店街に面する街区の、通りに接している部分のみ店舗がはいっている  
(1つ裏通りにはいると普通の住宅地。商店街との関わりがない。商店街へも、大きな通りからしかアクセスできない)

空き店舗を有効活用しつつ、商店街周辺地域の住民もまきこんでにぎやかな商店街の活気を取りもどすのに、私のように商店街沿いに住む若い人ってのがキーワードになるのかなと思います。

そこで、ターゲットを20代の一人暮らし女性（学生・OLさん）として、商店街沿いの、安全で利便性が高く、“住んでいて飽きないひとり暮らし”の提供をしたいと思います。

空き店舗を活用してひとり暮らしの方同士、また商店街でお店を営む方や周辺地域に住まれる地元の方々とのコミュニティを形成できる場づくりによるにぎやかなひとり暮らしが実現！したらいいなあと思います。

